

GKP未来会×京都大学活動報告

2018年11月12日に開催された京都大学の3回生向けの講義“下水道工学”をお借りして、GKP未来会の活動を行いました。田中宏明教授の全面協力を頂き、京都大学での同イベントは3回目の開催となりました。

1. 実施概要

イベント名：GKP未来会×京都大学

日時：2018年11月12日（月）8：45～10：15（90分間）

場所：京都大学吉田キャンパス総合研究4号館共通3

対象：京都大学3回生40名

備考：講義、下水道工学の時間を使用

実施内容：

- GKP未来会紹介
- グループワーク前の情報提供、事例紹介（琵琶湖流総計画、堺市災害対策）
- グループワーク
- 発表

2. 実施成果、所感

昨年度の京都大学のイベントにおいて「学生に社会人と一緒にディスカッションする場を作る」企画をしたところ、活発な議論が交わされ、学生側未来会側双方から好評いただきました。そこで、今年も我々からの情報提供として2つ紹介した後、テーマに沿ったディスカッションを実施しました。情報提供では、琵琶湖流総計画を紹介し、超高度処理の導入にむけての背景や課題を説明しました。また、災害対応が学生にはイメージしやすいと考え、堺市の事例をもとに下水道の災害対応についても情報提供を行いました。



写真1：情報提供の様子

情報提供のあとは、学生にグループに分かれてもらい、「もし自分が公務員なら、民間の企業人ならこの課題に対してこのように取り組みたい」ということをテーマにディスカッションし、

「お金がないなら、使用料を値上げすべき。消費税増税のように国民へ値上げの必要性を訴え理解を求める努力をしてはどうか？」

「災害対策の総費用と対策を行わなかったときの被害額を比較しているのか？」

など我々もドキッとするような意見がありました。

最後は、ディスカッション内容を発表して頂き、さすが京都大学の学生さんと思わせる理解力と短時間でまとめる能力にGKP未来会一同感心しました。



写真2：学生とのディスカッションの様子

今年度はGKP未来会関西の活動も他大学で開催する等、確実に実績を踏んできています。来年度は受講者からの声も参考にし、さらなる発展に向けて活動していきたいと思えます。



写真3：グループ発表の様子